

第36回 兵庫県高校生英語スピーチコンテスト阪神大会出場 (国際探求学科2学年)

1 主催：兵庫県高等学校教育研究会英語部会阪神支部

2 要領

(1) 参加資格： 阪神地区公立私立高校生および中等教育学校後期課程の生徒（参加規程詳細略）。

(2) 演題内容： 自由（高校生として適当なもの）。ただし未発表のものに限る。

(3) 制限時間： 5分以内（超過の場合は減点）

(4) 審査基準：

兵庫県大会審査基準：

Content 50点 Originality
 Organization / Development
 Support Material / Discussion
 Effectiveness / Persuasiveness
 Speech Value to the Audience

English 20点 Grammar / Usage / Word Selection
 Pronunciation / Rhythm / Intonation / Fluency

Delivery 30点 Vocal Quality (Volume / Clarity / Speed / Pause)
 Gesture / Eye Contact / Posture
 Manner (Confidence / Enthusiasm / Rapport)

(5) 日 時： 令和3年10月5日（土）11:30～17:00

(6) 予選方法： 原稿審査により、出場者を決定する。
 (提出後の原稿変更は認めない)

(7) 会 場： 兵庫県立国際高等学校

(8) 大会スケジュール：

※今年度は感染症対策の一環として各グループ7名の発表で入れ替えをし、3グループに分かれて実施した。ジャッジからのコメントや、他グループの発表者の様子は、後日配布されたDVDで視聴した。

国際探求Ⅱの授業で生徒一人一人が400～500wordsの英語スピーチを書きあげました。全国大会出場のスピーチを分析したり、神戸市外国語大学の野村教授の特別講義も受けたり、スピーチの書き方や表現方法について学びました。何度も推敲を重ねて完成させ、原稿の内容および構成が優れていた生徒2名を選出し、阪神スピーチコンテストに応募しました。全国大会でも上位入賞者がでるレベルの高い阪神大会の書類審査を通過し、兵庫県高校生英語スピーチコンテスト阪神大会に出場しました。大会に向けての発表の練習では、JTE および ALT の先生に発音の仕方や抑揚のつけ方など具体的な表現方法を指導してもらいました。当日はレベルの高い発表が続く中、熱のこもった発表を行い、メッセージを力強く伝えることができました。残念ながら県大会への出場はかありませんでしたが、練習の成果を出すことができました。

【阪神大会出場当日の様子】



・AIの利便性だけでなく、監視社会へつながる危険性について、迫力のあるスピーチをしました。

・学校の規則に疑問を持ったところからスタートし、本当の自主性とは何なのか、聴衆に問いかけるスピーチをしました。